

INDEX

● 活動報告

● 活動報告 ●

第1回 経営と法@地元セミナー

鹿児島大学法文学部附属司法政策教育研究センターでは、2023年4月26日(水)に、第1回 経営と法@地元セミナー「下請法ポイント解説～勧告事例から学ぶ下請法～」を開催しました。

地域経済の発展と地元企業の成長・飛躍には、公正な取引環境が土台にあることが重要な時代。当センターでは、地方都市や地域での企業経営における法的な側面を支援する新たなプロジェクトとして「経営と法@地元セミナー」をシリーズで開講していきます。このプロジェクトでは、ただ学ぶだけではなく地域の企業の「経営と法」を主題とする交流の場になることを目指しています。

今回は、その第1回として、公正取引委員会事務総局九州事務所のご協力をいただき、「下請法ポイント解説～勧告事例から学ぶ下請法～」

鹿児島大学法文学部附属司法政策教育研究センター 経営と法@地元セミナー 下請法ポイント解説～勧告事例から学ぶ下請法～

を主題とするセミナーを開催しました。

下請法の執行を担当する方と直接話すことが出来る貴重な機会となりました。

第3回 法の世界のDXを考える 法情報実務セミナー

鹿児島大学法文学部附属司法政策教育研究センターでは、「法の世界のDXを考える 法情報実務セミナー」として、「リーガル・インフラのデジタル革命」を主題とする連続セミナーを開催しています。

今回はその第3回として、「法制事務デジタル化・法令等データ利活用高度化の展望と論点」を主題に、デジタル庁参事官補佐 山内 匠氏を講師として開催しました。

現在デジタル庁で進められている、AI等の技術活用を含めた法制事務のデジタル化、API拡張や長期的な未来への展望を含めた法令等データ利活用高度化の取組みについて、検討・議論の現状の紹介と論点を提示いただくことで、今後展開すべき技術活用、研究、サービス開発の方向を展望します。

「法制事務のデジタル化」の状況説明と論点提示をするセミナーが、7月21日(金)に会場での対面とZoomによる配信のハイブリッド方式で行われました。

その後、提示された論点やみなさまから提起された議論を深掘りするためのワークショップを、7月28日(金)に、Zoomによるリモート方式で開催しました。

法の世界のDXを考える 法情報実務セミナー リーガル・インフラのデジタル革命 第3回 「法制事務デジタル化・法令等データ利活用高度化の展望と論点」

ロイヤリング実践セミナー2023

鹿児島大学法文学部附属司法政策教育研究センターでは、2023年8月25日(金)から8月28日(月)の4日間にかけて、「ロイヤリング実践セミナー2023」を開催しました。

弁護士、司法修習生、土地家屋調査士、社会保険労務士ほか法律系専門職の方を対象に、法律相談の技術についての講義から、模擬相談・模擬交渉映像を素材とするワークショップを実施しました。

鹿児島大学法文学部附属司法政策教育研究センター ロイヤリング実践セミナー2023 令和5年 8月25日(金)～8月28日(月)

来たれ、リーガル女子2023

鹿児島大学司法政策教育研究センターでは、2023年10月29日(日)に、福岡県弁護士会主催「来たれ、リーガル女子!2023」の共催組織として、鹿児島会場を担当し、開催しました。

第1部・第2部は、福岡県弁護士会館からのZoomによるオンライン生配信を鹿児島会場から視聴し、第3部は鹿児島会場独自のプログラムを実施しました。

第1部:「対談『弁護士になってよかった!』」では、弁護士による対談という形式で、企業内弁護士・事務所経営・社外取締役、子育てとの両立やパートナーとの協力など、女性弁護士の多様な活躍の場・働き方が紹介されました。

第2部:「法曹になるための進路説明」では、福岡大学法科大学院の非常勤講師も務める弁護士の先生を講師に、法科大学院の制度内容のほか、法学部の法曹コースや予備試験の位置づけ、司法試験合格後の司法修習制度などについての説明が行われました。また、九州大学法科大学院、西南学院大学、福岡大学法科大学院の教員

から、各校の特色なども説明されました。

第3部のグループセッションでは、鹿児島会場独自のプログラムとして、12名の中高生の参加者と地元鹿児島で活躍中の弁護士・裁判官との懇談が行われました。

鹿児島で活躍する女性法曹三者の生の声を直接聞くことで、中高生の参加者の今後のキャリア形成の一助となりました。

鹿児島会場版 来たれ、リーガル女子! in鹿児島 with 福岡 2023 Lawyer Judge Prosecutor



↑ 第1部・第2部の様子



↑ 第3部のグループセッションの様子